施 設 名 山梨県笛吹川フルーツ公園

所 管 課 県土整備部 景観まちづくり室

指定管理者 やまなしフルーツパークパートナーズ

構 成 団 体 山梨市フルーツパーク株式会社、株式会社富士植木、アグベル株式会社

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度						
指定管理者名		出資 法人		指定	期間		委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県公園公社			H18.4.1	~	H21.3.31	3年	746,082,000
山梨市フルーツパー	ク株式会社		H21.4.1	~	H26.3.31	5年	1,116,869,000
山梨市フルーツパーク 株式会社			H26.4.1	~	H31.3.31	5年	1,130,512,000
笛吹川フルーツ公園マネジメントグループ			H31.4.1	~	R5.3.31	4年	874,195,000
やまなしフルーツパークパートナーズ			R5.4.1	\sim	R9.3.31	4年	855,394,518

2 施設の概要

所 在 地	山梨市江曽原1488
設 置 年 月 日	平成7年10月7日
設 置 根 拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例
設 置 目 的	(1)都市公園としての①~④の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮していくこと ③良好な緑地景観、環境を提供すること ④果樹にふれあう場を提供すること (2)主宰事業の実施を通じて、果樹に関すること等を学ぶ機会を提供すること (3)果樹の展示を通じて、果樹にふれあい、果樹を学ぶ場を提供すること
主な業務の内容	(1)公園施設(緑地含む)及び設置器具等の維持保全に関する業務 (2)有料施設の利用承認に関する業務 (3)生活環境の緑化、くだものの振興業務 (4)県が実施するイベント等への協力
主 な 施 設 内 容 (定 員 等)	○公園面積 19.5ha ○施設の内容 •フルーツミューシアム ①くだもの館(延床面積3,492㎡、鉄骨造+RC地上1階地下1階) ②わんぱくトーム(延床面積1,141㎡、鉄骨造+RC2階建) ③くだもの工房(延床面積1,825㎡、鉄骨造+RC地上3階地下1階) •管理ヤート(管理棟193㎡、車庫・作業棟149㎡ RC造地上1階、管理温室524㎡ ガラスハウス) •ステージ前広場・入口広場・遊具広場・噴水広場・花壇・果樹園 ・水利用施設(噴水施設等) ・駐車場(第1~4・臨時)・ヘリポート・ドッグラン
備 考 (改築工事等の状況、 一括管理施設 等)	令和6年2月29日 健康遊具設置 ・健康遊具5基 (工事金額 4,196,000円)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	225,003,949	225,684,430	240,148,144	223,606,746	224,844,080	
支出合計	224,962,051	220,579,338	243,927,587	223,261,557	224,811,741	
収支差額	41,898	5,105,092	△ 3,779,443	345,189	32,339	

4 利用状況、利用者満足度の状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利	用実絹	复 333,409人	390,308人	463,942人	418,548人	506,805人	入場者数 事業参加者数の合計
利満	用者足度		©	0	0	0	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ②:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和6年度)

運営目標の指数

- ①来園者数 目標値450,000人→実績値506,805人
- ②来園者数のうち有料施設利用者数 目標値3,600人→実績値8,418人
- ③来園者数のうち果実及び緑化に関する催しの年間参加者数 目標値120,000人→実績値147,528人

指定管理業務の2年目として、事業計画に則り以下の新たな施策を実施した。

- ①10月からのヘリポート拡張工事に伴う駐車場減少による混雑対策として、大型イベント開催時における臨時駐車場の確保と無料シャトルバスの運行
- ②県内の幼稚園、保育園対象の農業体験(収穫体験)プログラムの実施
- ③花とフルーツとワインのテーマに沿ったワークショップ「くだもの教室」の開催
- ④山梨大学との連携によるAR/VRの導入
- ⑤園内果樹園の改植計画
- ⑥インバウンド対応における公式ホームページ・パンフレットへの多言語表記など

10月からのヘリポート拡張工事に伴う駐車台数の減少により来園者の減少を懸念したが、令和4年度並みの推移となり、最終的には目標値を大幅に上回った。

有料施設利用者数は、近隣施設への協力、外部団体からの催しの受入れなどにより目標値を上回った。 また、収穫体験や季節に合わせた大型イベント、幼稚園・保育園対象の農業体験プログラムなど果実及び 緑化に関する催しを実施し、年間参加者数は目標値を上回った。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

各季節に応じたフルーツの収穫体験イベントの実施や、果樹振興事業以外でも四季に応じた夏休み、クリスマスイベントなどに精力的に取り組み、公園利用者数が目標を上回る結果となった。

自主事業についても公園利用者のニーズに合致する魅力的な内容を提供できていると考えられ、アンケート結果の満足度も高いことから、公園利用者の声に耳を傾け、適切な運営が行えているものと読み取れる。 令和6年度より第一駐車場周辺での整備工事が継続して実施されることから、工事監督を行っている県の 建設事務所とも協力し、公園利用者への影響が少なくなるよう配慮して運営を行うこと。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

令和5年度は指定管理期間の初年度ということもあり自主事業に関して赤字が大きくなっていたが、令和6年度は大幅な黒字化に成功しており、満足度も高いため、令和5年度の反省を生かし健全な運営ができていると伺える。

また、令和6年度の途中から、公園内整備工事により一部駐車場が使用不可となり、利用者数にも影響が出ることが心配されたが、イベント時には指定管理者自ら臨時駐車場候補地の確保に加え、無料シャトルバスの運行を行うなど、工事に伴う影響が少なくなるよう努めた。

施 設 名 山梨県笛吹川フルーツ公園

所 管 課 県土整備部 景観まちづくり室

指定管理者 やまなしフルーツパークパートナーズ

構 成 団 体 山梨市フルーツパーク株式会社、株式会社富士植木、アグベル株式会社

1 利用状況 (単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	公園利用者数	333,409	390,308	463,942	418,548	506,805	
	(うち事業参加者数)	(35,563)	(112,924)	(163,287)	(127,673)	(147,528)	
	利用者数合計	333,409	390,308	463,942	418,548	506,805	
	目 標値	300,000	350,000	410,000	425,000	450,000	
	実績/目標割合	111.1%	111.5%	113.2%	98.5%	112.6%	
利用者数	目標値の設定方法	●令和2年度は、当初目標より新型コロナウイルス感染拡大の影を鑑み、目標を年度中に下方修正。 ●令和3年度35万人=コロナ渦でない状態のR3年度目標人数万人)×減少率(65.8%)+工夫による増加人数(3万人)で設定 ●令和4年度41万人=コロナ禍でない状態のR4年度目標人数万人)×減少率(77.5%=R3年度着地予想÷R3年度当初目標工夫による増加人数(2万人)で設定。 ●令和5年度42.5万人=指定管理期間の最終年度の目標値を人と想定し、指定管理初年度の目標値は基礎作りのため、過去(令和3年度390,308人)より微増で設定。 ●令和6年度45.0万人=指定管理期間の最終年度の目標値を人と想定し、前年度目標の約5%増で設定					
利	稼働率等(利用率)	913人/日	1,069人/日	1,271人/日	1,144人/日	1,389人/日	
用 稼働率等(利用率) 率 の算定方法 利用者数/営業日数(公園)							

2 類似施設・近隣施設

名称·施設 内 容 等 (1)山梨県御勅使南公園

3 補修工事等の状況(令和6年度)

(単位:円)

県 笛吹川フルーツ公園遊具施設他改修工事	-	15,648,600
県 プロジェクター交換		1,518,000
管 噴水広場ステンレス手摺修繕工事		528,000
管 園内屋外トイレ・くだもの工房トイレ修理		479,641
管 野外ステージ水中照明修復工事 外33件	=	4,455,969

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和6年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
14	随意契約	売上の40%	3,683,200	
2	随意契約	売上の28%	506,476	
2	随意契約	売上の30%	661,899	
2	随意契約	売上の25%	378,374	
1	随意契約	売上の20%	194,868	

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

) <u>相</u>	1日に官座来物に体る収入仏流 (単位:口)						
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	A 収	ス入額計	225,003,949	225,684,430	240,148,144	223,606,746	224,844,080
		施設利用料	95,388	494,004	747,066		669,646
収		指定管理委託料	216,146,000	216,146,000		209,891,120	213,908,020
		自動販売機手数料	2,234,930		2,707,485	5,789,875	5,424,817
入		果樹振興事業収入	4,257,040	4,673,226			3,914,816
		賃貸料収入	2,270,591	2,167,058	1,560,000		840,000
		その他			424,423	3,636,000	86,781
	ВЗ	5出額計			243,927,587	223,261,557	224,811,741
		人件費		105,876,784		77,546,406	76,883,690
		修繕費	10,906,422	7,789,701	5,475,577	6,664,776	5,463,610
		光熱水費	20,573,522	18,528,627	26,858,461	23,658,934	29,784,000
		消耗品費	4,001,867	3,115,536	1,904,319	7,675,994	9,284,245
		賃借料	4,482,054	3,722,636	4,774,759	6,749,466	5,580,324
		印刷製本費	2,105,670	258,445	1,773,367	1,032,852	712,807
		燃料費	626,618	1,765,512	1,305,541	3,060,530	2,727,570
		広告費	1,492,000	1,636,000	660,000	1,956,240	3,355,853
		備品購入費				2,121,496	
		保険料	196,840	518,190	375,367	347,530	315,860
		公租公課費	26,124	42,000	19,400		40,746
支		果樹振興事業支出	14,505,655	10,948,169	17,820,615	13,222,258	9,579,277
		手数料	88,770	86,295	75,860	1,273,446	2,799,015
出		通信運搬費	812,108	1,124,963	968,581	246,144	409,531
"		旅費	636,921	144,809			77,182
		原材料費	7,174,336		5,865,902		4,714,559
		負担金	76,000		110,000		659,773
		その他	16,822,637				247,380
		外部委託費	47,060,753				72,176,319
		清掃業務	31,520,346				30,960,000
		施設警備業務	844,800	844,800	844,800		999,900
		植裁業務	8,298,053	7,797,730	5,957,734		23,240,000
		駐車場警備	1,265,550	1,060,862	1,158,475		6,744,430
		設備管理業務	5,132,004	4,315,254	9,176,209	5,838,642	10,231,989
		外部委託比率	20.9%	20.6%	19.8%	28.4%	32.1%
		県への納付金					
	収っ	左差額(A-B)	41,898	5,105,092	△ 3,779,443	345,189	32,339
		:り指定管理者委託料*		553.8	489.9	501.5	422.1
	- 	5田女子がから 10日本	- NU () V I I				

^{*} 指定管理者委託料:利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
C 収入額計	206,782,121	226,151,303	280,930,574	205,893,062	228,859,263
D 支出額計	203,215,364	220,210,095	272,519,170	210,010,874	203,786,647
収支差額(C - D)	3,566,757	5,941,208	8,411,404	\triangle 4,117,812	25,072,616

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	魚のつかみ取り&炭火焼き事業	一般	ウォーター ガーデン
2	レストラン事業	一般	くだもの工房
3	カフェテリア事業	一般	くだもの広場
4	売店事業	一般	くだもの工房
5	外壳店事業	一般	入口広場
6	観光望遠鏡事業	一般	園内4か所

7 利用者満足度

実施方法等	実施方法	期:令和6年4月~令和7年3月 法:公園利用者へのアンケート及びQRコードによるWebアンケート :2, 798枚				
		満足	どちらかといえば 満足	どちらかといえば 不満	不満	
樹木や芝生の管	理状況	73.5%	24.9%	1.1%	0.5%	
トイレや休憩所の	清潔さ	59.9%	34.7%	4.1%	1.3%	
施設(ベンチや園の利用しやすさ]路等)	61.3%	33.2%	4.9%	0.6%	
園内外の案内(- 等)、情報のわか		58.8%	35.5%	4.8%	0.9%	
防犯や安全性(遊む)	5具等含	59.8%	36.4%	3.3%	0.5%	
スタッフの対応		67.2%	30.5%	1.8%	0.5%	
ショップについて		55.7%	38.9%	4.8%	0.6%	
レストランについ	て	52.5%	39.7%	6.6%	1.2%	
カフェテリアについ	ハて	51.7%	40.8%	6.5%	1.1%	
イベント・催しにつ	ついて	57.2%	37.9%	4.1%	0.8%	
施設全般の満	足度	67.8%	29.7%	2.1%	0.4%	
利用者の 主な意見	・駐車場・ドーム内・アクアア・安全でデッスだもの	いに整備されていて気持ち良く遊べる 場が少ない 内が熱い アスレチックの水が汚い で楽しく遊べる公園です の狩りをしたい アショップや料理教室をしてほしい				
利用者の意見 への対応	・ヘリポー エリアの(・ドーム) ・定期清: ・安心、3 ・収穫体	継続して園内の清掃、植栽管理の徹底と強化を図る。 、リポート拡張工事による駐車スペース減少の周知と空きスペースへの臨時駐車 リアの作成、大規模イベント時に近隣へ臨時駐車場の確保を実施 一ム内へ冷風機やミスト扇風機を設置 E期清掃の他、水質の状況を確認しながら臨時的に水の入れ替えを実施 そ心、安全に過ごしていただくため、日々の巡回点検、修繕を継続して実施 又種体験や農業体験に対して、実施回数を増やすなど、充実化をはかり実施 だものに関するワークショップやクッキング教室イベントを引き続き開催				

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	平成7年共用開始から29年を迎え、施設や設備の老朽化が激しくなってきているため、利用者の安全を考慮し、階段、園路、トイレ、遊具、防火設備などの不適合箇所に対し優先順位を決め、緊急性の高い順に修繕の計画および実施を行った。	施設について修繕が必要な箇所が多くなる中で、県側とも調整をとりつつ計画的な修繕を行うことができていた。 引き続き指定管理者で修繕が必要な項目については、計画的な修繕を進めていくこと。
運営業務	収穫体験や大・中・小規模イベントの 実施に加え、県内の幼稚園、保育園向 けの農業体験プログラム(収穫体験等) の実施、利用者からの要望対応として週 末のキッチンカー出店における飲食提 供の充実、くだもの広場地下(くだもの 館)内の通信不良(圏外)における電波 改善対応の実施、有料公園施設利用促 進としてフルーツをテーマにしたワーク ショップ「くだもの教室」の開催、園内果 樹園の老木にともなう改植の実施などを おこなった。	公園をより良いものとしていくため、各種イベントの実施に加え、くだもの館内の通信不良個所の電波改善など施設の利便性向上についても整備を行った。 また、果樹の老木については、数年後に果樹が収穫できるよう改植を実施するなど、将来を見据えた運営を行っていた。
利用状況	公園利用者数については、秋ごろから ヘリポート拡張工事が開始されたことに よる駐車スペースの減少のため、公園利 用者の減少、大型イベント等に対する来 園者数の減少が懸念された。しかし、秋 以降の来園者数がR4年度並みの水準 で推移し、最終的には公園利用者数が 506,805人となり、目標値の450,000人を 大幅に上回った。また、くだもの教室な どのワークショップの開催や近隣の日帰 り温泉施設と協力し宝探しイベントの受 入実施をおこなったことにより、有料施の 利用人数が8,418人となり、目標値の 3,600人を大きく上回った。また駐車ス ペース減少に伴う渋滞緩和対策として、 旧山梨市役所跡地を臨時駐車場として 借用し、大型イベント開催時には、臨時 駐車場から公園までのシャトルバスの運 用などの対策をおこなった。	繁忙期には自主的に臨時駐車場候補地を確保し、公園内整備工事に伴う駐車可能台数の減少が利用者数に影響が出ないよう努力しており、非常に評価できる。 有料公園施設利用者数の増加にも積極的に取り組んでおり、これらの取り組みが公園全体の利用者数の増加に繋がっていると考えられ、今後も様々な取り組みを実施し、同様の水準が維持できるよう期待したい。
収支状況	有料公園施設利用に関して、近隣施設との協力による催しの実施などにより、収入増につながった。支出については、物価の高騰、燃料の高騰や施設・企画管理業務の許可にいるスタッフ増員などにより増額となったが、経理管理を強化し、経費削減に努めた。	有料公園施設について、近隣施設と協力するなどして収入増加に取り組むことができていた。 改めて削減可能な支出項目が無いか再度 見直しを行い、計画的な収支管理に努めること。
自主事業	魚のつかみ取り事業を年間74日間開催し、フルーツ公園の主要な事業として集客増につながった。また、売店事業の販売品目の充実、外売店事業におけるテイクアウトメニューの販売、レストラン事業およびカフェテリア事業における季節のフルーツを使ったデザートの販売など、年間通じて利用者に飲食等の提供ができた。	昨年度と比べ自主事業収支が大幅なプラスになるなど、実施した自主事業が公園利用者のニーズと合致して利用者が多くなったものと考えられる。 今後も公園利用者が楽しめ、満足できる事業を行うこと。

アクアアスレチックの定期清掃や水の アンケート回収数も多く、昨年度から引き続 入れ替えの徹底、キッチンカーによる飲 いて高い満足度を維持できており、公園利用 食の提供、冷風機などの設置による暑さ 者の目線から必要な対応が取れていると考え 対策、収穫体験や催し物の充実、危険 られる。 利用者 個所の修繕など、利用者が満足できるよ 引き続き公園利用者の声を取り入れつつ、 満足度 うソフト、ハード両面で改善や対応に務 管理運営を行うこと。 めた。その結果、「満足」と「どちらかとい えば満足」の合計が97.5%と高水準の評 価を得ることができた。

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
	都市公園における県民の憩いの場の 提供のため、公園施設(屋内研修施設、料理教室、作業室)の年間利用者数を 評価指針として設定。 年間利用者数は8,418人となり、目標 値3,600人を上回ることができた。	近隣施設と協力するなどして、公園施設が多くの公園利用者に活用してもらえるよう努力していた。 料理教室などのイベントで使用する場合は、利用者数だけではなく質も重要であると考えるので、内容もより充実したものになるよう努めること。
緑化の啓 発・普及及 びくだもの に関する振 興業務	緑化の啓発・普及及びくだものに関する振興のため、果実及び緑化に関する催しの年間参加者数を評価指針として設定。 年間参加者数は147,528人となり、目標値120,000人を上回ることができた。	季節に応じたフルーツの収穫体験やフルーツを使用した料理教室の開催、幼稚園、保育園向けの農業体験プログラムの実施など、好評な様々な取り組みを継続して実施した。本公園ならではの魅力的な体験ができる事業ばかりであるため、SNS等を用いて効率的な情報発信を行いイベントを周知し、イベント内容の質の向上にも努めること。

10 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在

